

ひまわり新聞

23

福島



NPO法人
チームふくしま

ひまわり里親
プロジェクト

東日本大震災から 15年



令和7年度「地域経済政策推進事業費補助金（被災12市町村における地域のつながり支援事業）」

Cover Model: 高橋留々さん 2025年7月13日生まれ

新理念「For next」

NPO 法人チームふくしまはこれまで、「For you For Japan」（あなたの為になることが日本の為になる）を理念として掲げ、「世の為になるか？人の為になるか？」を行動基準として掲げてきました。このたび、新理念「For next」（次世代の為に）を掲げました。ひまわりの種を福島のために送ってくださる皆様は、本当に我々と志をともにしてくださる同志だと考えています。私たちの活動にともに参加して下さった多くの子どもたちから、たくさんのお手紙をいただきます。そのお手紙には「人のお役に立ちたい」という思いがあふれています。

この子どもたちが10年後大人になった時、自分のことしか考えない大人ではなく、社会のこと、未来のことを考える大人になっているはずです。私たちの活動は、子どもたちと一緒に未来を築く志事—10年後、50年後、100年後の「日本の為」になる活動だと、里親さんのお子様たちから学ばせていただいております。

新しい理念は「For next」。未来の為に、子どもたちの為に。この理念とともに、これからも活動を続けさせていただきます。

目的

災害被災地域での復興支援に関する事業、
福島から日本を元気にする事業を行い、
すべての人々が夢と志を持って
最幸の人生を送ることができる社会の
実現に寄与すること

For next

ご協力
ありがとうございます

福祉作業所のご紹介/スタッフ紹介

特定非営利活動法人 和様

ひまわりの種の袋詰め作業、県内バスの燃料や「ひまわりカレー」に使用する搾油作業等でご協力いただいています。

生活介護事業所 ほっとライフ様

全国から届いたひまわりの種の袋詰めやDM作業、コミュニティフリッジひまわりの管理等を行っていただいています。

—スタッフ紹介—

皆さまに喜んでいただけるよう、これからも新理念のもと、思いやりあふれる社会と平和の実現を目指して、感謝の気持ちと共に活動・サポートさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します！



山田沙也加
(マネジャー)

事務全般からイベント運営、広報など全般を担当させていただきます。

遠藤由佳
(サポートリーダー)

事務局全体のサポートを担当させていただきます。

NPO法人 チームふくしま

チームふくしまは2011（平成23）年3月の東日本大震災・福島第一原子力発電所の事故を受けて福島復興支援活動を開始。「福島ひまわり親プロジェクト」として始動し、翌2012（平成24）年2月にNPO法人を取得しました。全国の里親さん（全国で活動に協力して下さる参加者のみなさん）にひまわりを育てていただき、そこで採れた種を福島県内の方々に寄贈し、復興のシンボル「ひまわり」を福島の大地に咲かせる取り組みをしています。

役員やメンバーは福島県内の若手経営者を中心となっており、地元福島を元気に盛り上げていくと活動しています。



チームふくしま
理念



特定非営利
活動法人 和



生活介護事業所
ほっとライフ

チームふくしま 受賞歴

【福島ひまわり里親プロジェクト】

- 一般財団法人 KIBOW 主催
第 3 回 KIBOW 福島
優勝 (2013 年 2 月)
- 公益財団法人パナソニック教育財団
こころを育む総合フォーラム事務局 主催
2013 年度 子どもたちの
“こころを育む活動”
奨励賞 (2013 年 12 月)
- 福島県 主催
ふくしまからはじめよう。
情熱大賞 受賞 (2014 年 3 月)
- 福島県 主催
わたしからはじまる
『ふくしまからはじめよう。』
フォトメッセージ大賞 (2014 年 9 月)
- 復興庁 主催
REVIVE JAPAN CUP2014
ライフスタイル部門
みんなで創る「新しい東北」
復興まちづくり
奨励賞 (2014 年 12 月)
- 公益財団法人あしたの日本を創る協会、
各都道府県新生活運動等協議会、
読売新聞社東京本社、NHK 主催
平成 27 年度 あしたのまち・
くらしづくり活動賞
主催者賞 (2015 年 11 月)
- 環境省 主催
第 3 回グッドライフアワード
環境大臣グッドライフ特別賞
(2015 年 12 月)
- 公益財団法人社会貢献支援財団 主催
第 47 回 社会貢献者表彰
社会貢献の功績 受賞 (2016 年 11 月)
- 復興庁主催
「新しい東北」
復興ビジネスコンテスト 2017
企業賞
損保ジャパン日本興亜賞
(2017 年 11 月)
- 福島民報社 主催
第 3 回ふくしま産業賞
特別賞 (2018 年 1 月)
- 住友生命保険相互会社 主催
第 11 回 未来を強くする
子育てプロジェクト
「子育て支援活動の表彰」
スミセイ未来賞 (2018 年 3 月)
- 一般社団法人日本善行会 主催
平成 30 年度秋季善行表彰
(2018 年 11 月)
- 福島市 主催
福島市クールチョイス大賞
特別賞 佐藤真瑚賞 (2021 年 1 月)
- 一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及
推進協会 主催
ソーシャルプロダクツ・アワード
2023 ソーシャルプロダクツ賞
(2023 年 3 月)

【お互いさまの街ふくしま】

- 認定 NPO 法人大阪 NPO センター 主催
CSO フォーラム 2023
ファイナリスト賞 (2023 年 12 月)
お互いさまの街ふくしま
- 福島民報社 主催
第 9 回ふくしま産業賞
ふくしま経済・産業・
ものづくり賞 (ふくしま産業賞)
(2024 年 2 月)
- 環境省 主催
第 12 回グッドライフアワード
実行委員会特別賞
地球と人への想いやり賞
(2024 年 12 月)
- 公益社団法人程ヶ谷基金 主催
第 15 回男女共同参画・
少子化関連顕彰事業
活動賞 (2024 年 12 月)
- 認定 NPO 法人 プラチナ・ギルドの会 主催
第 11 回プラチナ・ギルドアワード
表彰 (2025 年 5 月)
- 主催：第一生命保険株式会社
後援：厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、
NHK 厚生文化事業団
第 77 回「保健文化賞」(2025 年 11 月)
厚生労働大臣賞
第一生命賞
朝日新聞厚生労働大臣賞
NHK 厚生文化事業団賞



参加者の皆様を代表して受賞させていただきました！

第 77 回 保健文化賞

厚生労働大臣賞／第一生命賞／朝日新聞厚生労働大臣賞／
NHK 厚生文化事業団賞

主催：第一生命保険株式会社
後援：厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK 厚生文化事業団

この度、第 77 回保健文化賞を受賞させていただきました。本賞は、保健・福祉・衛生の分野で長年にわたり社会に貢献してきた個人・団体に贈られる、70 年以上続く大変名誉ある賞です。保健文化賞は、第一生命保険株式会社が 1935 年から続けてきた保健衛生活動を基盤に、戦後の衛生環境が深刻化した 1950 年に創設されました。以来、保健衛生の向上に尽力する方々へ「感謝」と「敬意」を届け続けています。本年度は厳正な審査の結果、10 団体・個人 3 名が受賞。その中の一団体として選出されました。この度の受賞は、私たちの活動を支えてくださる全国の皆様のお力添えの賜物でございます。心より御礼申し上げます。

この度、天皇皇后両陛下に拝謁の栄を賜り、参加者や関係者の皆様のお名前や写真を胸に、皆様を代表して拝謁させていただきました。受賞や拝謁を通じて、私たちは改めて「ここからがスタートであり本番である」という想いを強くしております。理念「For next」(次世代のために)のもと、次世代のために今後とも皆様と共に歩んで参りたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

—理事長からのメッセージ—



拝謁前



拝謁後



理事長 半田真仁
受賞者代表挨拶の様子

CSO フォーラム 2023 ファイナリスト賞 授賞式 (2023 年)



ふくしま経済・産業・ものづくり賞 (2024 年)



第 11 回プラチナ・ギルドアワード授賞式 (2025 年)





福島ひまわり 里親プロジェクト



東日本大震災の地震や津波、原発事故で深刻な打撃を受けた福島の復興につながるよう、2011年5月から開始した「福島ひまわり里親プロジェクト」。震災から15年が経ちました。復興のシンボル「ひまわり」を全国の協力者（里親さん）に育ててもらい、収穫したひまわりの種を福島へ送っていただくことで、全国と福島県の人々の「つながり」を生み出し、絆と震災についての理解を深めています（Ⅱ防災教育・命を守る）。また、この事業に関わった方々に福島県を訪れていただく（Ⅱ観光・絆づくり）、委託による福祉雇用の創出（Ⅱ雇用確保・創出）の促進につなげています。多くの人にプロジェクトに参加いただくことで、「関係人口」を全国に広がっています。



ひまわりの種の流れは次のようになっています。

- ① 福島県二本松市にある福祉作業所「和（なごみ）」に委託しひまわりの種の袋詰め、商品の製造、発送をしていただき（「福祉雇用創出」）、全国の里親さんに購入していただきます。
- ② 全国各地の参加者の方々（「里親さん」）にひまわりを育てていただく（東日本大震災や福島原発事故で被災した福島県民の状況などを理解していただく「防災」）。
- ③ 収穫された種を福祉作業所「和（なごみ）」へ送っていただく。
- ④ 里親さんから届いたひまわりの種は、福島県福島市にある生活介護事業所「ほっとライフ」に委託しひまわりの種の袋詰めをしていただき（「福祉雇用創出」）、福島県在住の方に無料配布を行い、福島県の復興のシンボルとしてひまわりを咲かせていただく（「観光促進」）。
- ⑤ 福島で咲いて採れたひまわりの種を福祉作業所「和（なごみ）」に委託し、ひまわり油に搾油していただく。ひまわり油は、二本松市の生活介護事業所「菊の里」にてバイオディーゼル燃料に精製され、福島交通観光株式会社の福島市内循環バスの燃料に活用。食用ひまわり油はレストラン「ひまわりカレー」に活用。

①種の製造

震災で仕事が減少した
福島の障がい者の作業所で
種をパック詰め・全国へ販売



福島県二本松市NPO法人和で製造

②全国で開花・種を福島へ

全国の里親さんが種を購入
学校・企業など各地域で栽培
採れた種を福島に送付



全国50万人、教育団体3,000校以上参加

③福島に配布・開花

全国から届いた種は福島の
学校などに無料配布。
復興のシンボルとして開花



2018年、福島県内へ40,000袋以上配布

④福島の種はエネルギーに

福島で採れた種は搾油後、
バスのエネルギーとして使用
2箇所の福祉作業所の仕事に



県内の種は搾油しバスのエネルギーとして使用

全国の里親の皆様

参加者累計

65万人
以上

ご参加いただき
ありがとうございます

一部、ご紹介させていただきます

教育機関・団体

6,000
以上

KYOTO



【京都府】
のぞみ整骨院グループ 様

NAGANO



【長野県】
長野ひまわり甲子園実行委員会 様

OKAYAMA



【岡山県】
晴れの国発！福島ひまわり里親プロジェクト 様

TOKYO



【東京都】
東武鉄道株式会社 様

CHIBA



【千葉県】
社会福祉法人九十九里ホーム 様

QRコードギャラリー



チームふくしま
まとめサイト



ホームページ



YouTube ①



YouTube ②



Facebook
チームふくしま



Facebook
福島ひまわり里
親プロジェクト



Instagram



X



紹介動画
①



紹介動画
②



ひまわり
マップ



マンスリー
サポーター HP



コンテンツで
みるふくひま

ご参加
ありがとう
ございます



中東へ旅立つひまわりの種

2025 年 日本国際博覧会ヨルダン館長に
本とひまわりを寄贈

NPO 法人チームふくしまでは、2025 年日本国際博覧会に出展したヨルダン（正式名称：ヨルダン・ハシェミット王国）に、ひまわりの種や書籍等を寄贈させていただきました。ヨルダンの関係者の方々にも、福島ひまわり里親プロジェクトの活動への深いご理解をいただきました。今後、ヨルダンにたくさんのひまわりが咲き誇ることでしょう。

ヨルダンのアフマド館長（中央）
にひまわりの種を寄贈した
半田理事長（右から2人目）



ひまわり 結婚式

Wishing you happy married life!

ひまわり結婚式へ

8月

牧野ひまわり会様が育てられている3万本以上の牧野ひまわり畑にて、毎年、ひまわり結婚式を開催しています。福島ひまわり里親プロジェクトに参加する多くの人たちが祝福する中、カップルが愛を誓います。ひまわりの花も結婚を祝福しています。



真夏の日差しを浴びてすくすくと成長し、花を咲かせたひまわりたち。夏の青空に、黄色い花が映えて、夏本番を感じさせます。多くの人々がひまわりの花を見に訪れます。

すくすくと成長

7月

挙式累計※

28組
56人

※続婚式も含む総計

苗植え

6月



ポットで成長したひまわりを畑に植え替えます。キレイに一行に並べて植えます。広い畑に植え替えられて、ひまわりの苗も心なしかイキイキとしているようです。

種まき

5月



全国の皆さんが育ててくれたひまわりから採れた種を栽培用のポットにまきます。子どもから大人まで、みんな一緒に楽しく種まき。「早く芽を出して大きくなって!」。子どもたちの願いが届きますように。

ひまわり結婚式前 体験活動

プロのコツを
教えます!



結婚式の前には、ひまわり畑の手入れや、結婚式に向けたテント設営、会場設置、グループによる演奏やイベントのリハーサル、ラーメン教室（子ども体験）など開催。結婚式の前からムードは最高潮です。





ひまわり 結婚式



奇跡のひまわりベンチ

感動の
実話

結婚式、続婚式の会場である牧野ひまわり畑には、NPO 法人チームふくしまの理事の一人である大和田勲理事のご息女と、そのご家族が寄贈してくださった「奇跡のひまわりベンチ」があります。震災当時大越に避難していた大和田理事のご息女やご家族が絵を描いてくださいました。年月が経っても、恩送りをされているお姿に感動させていただいています。牧野ひまわり畑にお越しくださった際はぜひご覧ください。



満開の3万本のひまわりに囲まれて、愛を誓ったカップルが挙式をする「ひまわり結婚式」は2025年も、福島県田村市大越町牧野地区にある牧野ひまわり畑で開かれました。牧野地域の住民の皆様が熱心に栽培をした復興の花ひまわりが揺れる中で、コーラスや演奏、お祝いの太鼓演奏などイベントも盛りだくさん。会場に参加した方全員で「おめでとうシャワー」をして、ご夫婦様の門出を祝いました。心に残る結婚式では、ご夫婦様だけでなく参加者の皆さんの目にも感動の涙が…。人生の思い出に残る1ページを参加者全員で体験しました。



長年、人生を共に歩んできたご夫婦が、お互いへ感謝を伝え、これからも共に歩むことを誓う「ひまわり続婚（ゾッコン）式」も、結婚式と同じ会場の田村市大越町の牧野ひまわり畑で開かれました。牧野地区の住民の皆様もご協力・ご参加いただき、アットホームな雰囲気の中、3万本以上のひまわりに囲まれながら式が行われました。いつまでもゾッコンな関係を大切に。お二人だけでなく、参加した人たちにとっても、笑いあり、涙あり、感謝あり、一生思い出に残る最幸のひと時となりました。

ひまわり ゾッコン式

日本初!

Wishing you happy married life!





震災当時の炊き出し体験



熱い想いが
世界に届く

第11回

ひまわり甲子園 全国大会 2025

「福島を、日本を元気にしたい」という想いを抱く皆さんの熱い想い、熱い発表は、まさに「胸熱」。ひまわりをシンボルとして福島の観光促進に繋げ、防災ネットワークを構築するきっかけにもなっています。福島ひまわり里親プロジェクトから、お互いさまの街ふくしまへ。震災から現在までがわかる感動ストーリーに溢れました。

2025年には「ひまわり甲子園」が開催されました！皆さんはご存じの通り、福島ひまわり里親プロジェクトに参加している子どもや大人たちが、ひまわりを育てる中で生まれた感動エピソードを発表する一大交流イベントです。2013（平成25）年から開催しており、2025年は全国から多数の参加者が福島県郡山市に集まりました。



集合写真



復興庁福島復興局
次長 小野寺晃宏様
挨拶



郡山市長
品川萬里様
挨拶



高橋淳実行委員長
挨拶

25年出場団体

繋がりにから広がりに



東日本電信電話
株式会社

(東京都)

「繋がりにから広がりに」にちなんで、新たな取り組みについても発表しました。



宇治市立
広野中学校

(京都府)

学校運営協議会の、地域の施設などでの取組を紹介しました。



東武鉄道
株式会社

(東京都／2024年～)

栃木県壬生町と連携しふくひまにご参加、駅に大輪のひまわりが咲きました。



唐津市立
西唐津中学校

(佐賀県)

本校生徒のふくひまに寄せせる思いと活動を通し成長した姿を発表しました。



台中日本人学校
御堂 大貴

(台湾)

台中日本人学校で行った「防災DAY」や「恩送りチケット台湾第1号店」を発表。



学校法人鈴鹿享栄学園
鈴鹿高等学校

(三重県)

ひまわりを通じた福島との繋がりにから、防災教育での学びへと広がっています。



喜多方市立
姥堂小学校

(福島県)

6年生が総合学習の時間に取り組む「姥堂小『恩送り』大作戦」を発表しました。



NPO法人みらいのとびら
カンガルーハウス

(京都府)

ふくひまとの縁から広がったご縁、学びについて発表しました。



国立学校法人福島大学
人間発達文化学類

(福島県)

全国と福島との絆からの学びと、自身の成長をふくひまの理念に寄せて発表。



自家焙煎喫茶
中央茶廊

(石川県)

能登半島大震災で被災しましたが「被災地でも出来ることがある」と発表。



発表動画

①



発表動画

②



発表動画

③



発表動画

④



発表動画

⑤



発表動画

⑥



発表動画

⑦



発表動画

⑧



発表動画

⑨



発表動画

⑩



オープニング
アクト 息吹



大会動画



3 級合格者
2022 年から累計
1,283 名



内閣府
国土強靱化計画
取組事例集

経験から学ぶ ひまわり防災検定

東日本大震災から 10 年を機に、NPO 法人チームふくしまが創始した独自の検定です。2022 年 3 月 11 日に、正式に検定制度が開始されました。



ぼうさいこくたい 2025

ぼうさいこくたい 2025 in 新潟（主催：内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議）に出展させていただきました。東日本大震災の想いを次世代へつなぐ～ひまわり防災検定が育む共助の力～をテーマに防災事業と次世代事業のブース展示、書籍紹介もいたしました。



ぼうさいこくたい 2025 の出展ブース



（学友）鈴鹿享栄学園 鈴鹿高等学校様の受験の様子

これまで防災教育の一環として、個人だけでなく企業の方、学校の児童、生徒さんに参加いただいています。キャリア教育、防災教育、危機管理教育、花育、福祉教育、環境教育などの各種教育としてご活用いただいています。毎年のように自然災害が発生している日本では、日々の防災意識を高めておくこと、備えをしておくことが、命を守るうえでとても大切です。防災・減災の意識と教訓が後世に語り継がれ、日本中に広がって欲しい、という願いを込めて実施しています。

2025 年 11 月、ひまわり防災検定の生みの親でもあり、監修者であった半田和志様のご逝去されました。元広島県立消防学校校長としてひまわり防災教育の礎を築かれました。福島復興、防災教育の普及にも多大なお力添えをいただき、私たちの活動にとつて欠かすことのできない存在でありました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

東日本大震災から 10 年を機に、NPO 法人チームふくしまが創設した独自の検定です。2022 年 3 月 11 日に、正式に検定制度が開始しました。被災地の観光支援や震災の風化対策、福祉施設の雇用創出など多くの効果が現れています。特徴は、一般の検定試験とは異なり、講座、ワークショップを主に行います。講師や他の参加者と一緒に考えたり、意見を聞いたりすることによって、新しい気づきを得て、お互いに防災意識を高めることを目的にしています。

ひまわり防災検定とは



ひまわり防災検定

震災の経験を元に、これからの社会で必要とされる防災知識を習得できます
被災地の観光支援・震災の風化対策・福祉施設の雇用創出...など効果多数

- このような分野で活用できる検定です
- 各種教育
 - キャリア教育
 - 防災教育
 - 危機管理教育
 - 花育
 - 福祉教育
 - 環境教育
- 被災地支援
- 観光支援
 - 震災の風化対策
- 高卒や引きこもり等で資格のない方も福島に来て受験することで資格を得られ、自己肯定感の向上につながります。
- 用途 ○ 企業研修 ○ 行政 ○ 修学旅行 **修学旅行で資格を得られます！**

各級の概要

- 3 級** 全国
- 2 級** 福島県内
- 1 級** 前年・宮城・福島被災 3 県を周る

- ・アンバサダーとして 3 級育成が可能
- ・授与式を毎年 3.11 に開催（被災 3 級のいずれか）

- 参加特典
- 「福島ひまわり重観プロジェクト」グッズとひまわりの種を参加された方全員に進呈

受講内容

- 講座・ワークショップ→テスト
- ・「福島ひまわり重観プロジェクト」について
 - ・震災時の出来事
 - ・震災後～現在～将来への動き
 - ・防災への備え
 - ・被災地（東北 3 県、新潟、兵庫）からの事例
 - ・ハザードマップを用いたワークショップ
 - ・被災経験者の事例発表...など
- 大学の先生・被災された方等
知見を持つ方々に参画して頂きます。

- 特徴
- ・テストの試験官は、試験実施地域の福祉作業所の利用者の方々が務めます
 - ・商業的には講座の講師も福祉作業所利用者の皆さんの仕事に繋がります

検定の運営団体 特定非営利活動法人チームふくしま

福島ひまわり重観プロジェクト

全国の復興ボランティアで育ててくださった「ひまわり」を福島県で「復興のシンボル」として咲かせることによって、雇用・教育・観光に繋げ、また、日本全国と福島の「絆」を深めるプロジェクトです。防災教育・道徳教育として、プロジェクトが教科書に掲載、全国の学校で授業に活用されています。

学校授業副読本・教諭向け書籍に掲載

- ◆見る・触る・聞く！公民資料 2014-2015
- ◆ビジュアル公民 2014-2015（いづれも東京堂出版）

- ◆ふくしま道徳教育資料集（2015）

- ◆新版 授業づくりの教科書理科実験の教科書 3 年（2019）（くろし）

累計活動参加人数・団体数
★55 万人以上
★6,000 校以上の学校

◆「ひまわり絵本」英語版が小学校の英語授業で活用



困った時は
お互いさま

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

1 貧困をなくそう



11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



17 パートナリーシップで目標を達成しよう



災害支援のあゆみ

●	2016年	4月	熊本地震
●	2017年	7月	九州北部豪雨
		8月	大阪北部地震
●	2018年	7月	西日本豪雨
		9月	北海道地震
		7月	北九州豪雨
●	2019年	9月	台風 15号 千葉県
		10月	台風 19号
●	2020年	4月	コロナウイルス感染対策支援
		7月	令和 2年 7月豪雨
		7月	静岡県土砂災害
●	2021年	8月	広島県豪雨
		8月	日野浦様(岡山県) 自宅全焼 応援
		2月	福島県沖地震
●	2022年	3月	福島県沖地震
		6月	熊本地震
		9月	台風 15号 静岡県
		2月	トルコ・シリア地震
●	2023年	5月	石川県能登地方地震
		7月	令和 5年 7月豪雨
		9月	台風 13号による大雨
●	2024年	1月	石川県能登地方地震
●	2025年	2月	大船渡市林野火災

チームふくしまは、プロジェクトに関わってくださった方々や、地域の皆さまからの支援金を通じて、これまでに全国各地、海外でも災害で被害を受けた地域への支援を行ってきました。

「困ったときはお互いさま」
皆様の温かいご支援とご協力に心より感謝を申し上げます。

2011年3月11日の東日本大震災を受けて始まった災害支援活動は、その後、熊本地震、西日本豪雨災害、新型コロナウイルス感染対策支援、広島県豪雨災害と全国各地の応援いただいた皆様の被災地でも実施しました。2024年元日の能登半島地震、そして2025年は岩手県大船渡の森林火災でも支援活動を行わせていただきました。被害状況を確認し、福島ひまわり里親プロジェクトに参加されている方々との情報共有、各種支援事業への参加や協力、支援金の呼びかけなどを通じて、被災からの復旧・復興の絆を築いてきました。集まった支援金は、被災された方々のニーズに合わせて使用させていただき、被災者の皆様から大変に喜んでいただいております。



能登半島地震での支援活動

2024年1月1日に発生した能登半島地震被災地の支援活動を通じて、ご縁が生まれた石川県七尾市にある中央茶廊様と協働事業を行っています。中央茶廊様のコーヒーを「きずなドリップ」として販売し、売上の一部を参加者や関係者である輪島漆作家の方や輪島の介護施設などに寄付させていただいています。ドリップの袋詰めは福島県内の福祉作業所にて行って福祉雇用創出に繋げるとともに、福島の復興支援にもつなげています。きずなドリップの振る舞いや京都の里親さんであるのぞみ整骨院様による輪島市にあるグループホームでのマッサージ（施術）も行いました。

大船渡市林野火災での支援活動

被害状況を確認する中で、岩手県出身の弊社法人関係者や、ご縁のある方のご自宅が焼失するという被害がありました。多くの里親さんからの支援金をいただき、被災者の方々への支援活動をさせていただきました。





チームふくしま 新聞記事等 掲載実績



活動内容が
新聞記事に
なりました



福島ひまわり里親プロジェクト

コミュニティブリッジ ひまわり

お互いさまの街ふくしま



▲ 2025.4.26 北國新聞



▲ 2025.6.1 福島民報



▲ 2025.7.16 岩手日報

▲ 2025.1.16 洛タイ新報



▲ 2025.5.10 朝日新聞



▲ 2025.8.26 読売新聞



▲ 2025.8.22 福島民報



▲ 2025.8.27 福島民報

▶ 2025.1.16 福島民報



◀ 2025.6.4 毎日新聞 (静岡版)

▶ 2025.6.28 読売新聞



◀ 2025.7.15 福島民友

QR コードギャラリー



2011 年
掲載記事



2012 年
掲載記事



2013 年
掲載記事



2014 年
掲載記事



2015 年
掲載記事



2016 年
掲載記事



2017 年
掲載記事



2018 年
掲載記事



2019 年
掲載記事



2020 年
掲載記事



2021 年
掲載記事



2022 年
掲載記事



2023 年
掲載記事



2024 年
掲載記事



2025 年
掲載記事



2021 年
掲載記事



2022 年
掲載記事



2023 年
掲載記事



2024 年
掲載記事



2025 年
掲載記事

福島ひまわり里親プロジェクト

コミュニティブリッジ ひまわり



2022 年
掲載記事



2023 年
掲載記事



2024 年
掲載記事



2025 年
掲載記事



鈴木会長
講演会



半田理事長
講演会①



半田理事長
講演会②



一杯の豚汁



お互いさまの街ふくしま

講演会・プロモーション動画



ふくしまの
取り組みが
評価されて
います

チームふくしま 書籍・メディア 掲載実績

新刊を出版！



NPO 法人チームふくしま 著
Noriko 文
志賀内泰弘・半田真仁 監修
ISBN978-4-341-13291-0
定価 1,500 円
ごま書房新社様より
全国書店で好評発売中！

新刊を寄贈しました

『お互いさまの街ふくしま発 “恩送り” が世界を変える！仕事も人生もうまくいく究極の生き方』（NPO 法人チームふくしま 著、Noriko 文、志賀内泰弘・半田真仁監修、ごま書房新社、定価 1500 円）が発売になりました。「恩送り」の活動を一人でも多くの方々に知っていただきたいという思いから、NPO 法人チームふくしまは県内各地の団体に本書を寄贈いたしました。



喜多方市教育委員会 様



福島市こども食堂ネットワーク 様



福島市教育委員会 様

英オックスフォード大在学生の紹介動画



有難う
ございます！



NPO 法人チームふくしまにインターンシップで来られた英オックスフォード大学在学学生の方に、書籍紹介の動画にご登場いただきました。「関わる人たちの実体験や心の変化、参加者の想いが丁寧に綴られていて、その温かさが心に染みてきます」。



書籍紹介
動画

WEB メディア・新聞に掲載されました

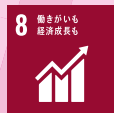


希望のメディア
HOPIUS WEB



毎日新聞に掲載 (2025 年 4 月)

希望のメディア「HOPIUS」に
チームふくしま理事長、半田の
インタビューが掲載されました！



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

お互いさまの街ふくしま コミュニティフリッジ ひまわり



2025年に開催した主なイベント

- 1: こいのぼり設置
- 2: 夏休み子ども企画 祭り
- 3: バーベキューイベント
- 4: クレープ配布会 (協力: 三日月カフェ様)
- 5: わくわく配布会
- 6: ジブリ映画上映会とポップコーン

利用者さんからのおれ

「ひまわりは、子どもたちが
安心して利用できる場所です。
食料品や日用品が無料で、人目
を気にせず利用できるのがいい中
でも、ここには、みんなの笑顔が
溢れています。」



2025年 配布 + イベント

「コミュニティフリッジひまわり」は、無人福祉型子ども食堂です。支援を必要とするひとり親世帯など、経済的に困難を抱える世帯が無料で、人目を気にせず食料品や日用品を受け取れます。故・吉成洋拍副理事長の遺志を引き継ぎ、「みんなの食糧庫」として食糧の無償提供を行ったことに始まり、2020年2月には日本初、アパート型のコミュニティフリッジを開設しました。株式会社いちいち様の社員寮の一室をお借りして実施しています。

室内の整理整頓清掃の作業は福祉作業所に依頼し、「福福連携モデル」を実現。児童扶養手当や就学援助を受給している世帯や奨学金を受給している学生など現在135世帯が登録し、約400人以上が週2日利用しています（長期休暇の時期は毎日）。室内にはノートが設置され、応援や感謝のメッセージを書けるようになっており、ノートを通じて感謝の心を育みひとりではない、と感じていただいています。

次世代を担う子どもたちが、生まれ育った環境などに左右されず健やかに育成され、体験などをする中で、人生の選択肢を広げるとともに、保護者だけでなく地域で子どもを育てていく気持ちの共有と、環境、仕組みづくりに関わることで、地域社会の維持活性化に貢献しています。



QRコードギャラリー



ホームページ



紹介動画
①



紹介動画
②



Facebook



マンスリー
サポーター HP



スマート
サプライ



導入・実施の状況

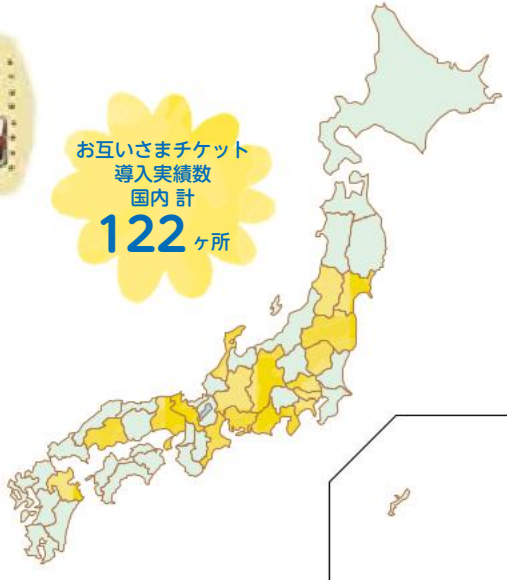
PAY IT FORWARD

お互いさまチケット
導入実績数
福島県内 計

78ヶ所

お互いさまチケット
導入実績数
国内 計

122ヶ所



地図内の黄色……導入・実施している都道府県・市区町村（以下順不同）

【福島】 福島市／二本松市／会津若松市／郡山市／いわき市／伊達市／喜多市／南相馬市／白河市／本宮市／
双葉郡／大沼郡／耶麻郡猪苗代町
【全国】 兵庫県／大分県／栃木県／東京都／長野県／石川県／静岡県／神奈川県／山形県／三重県／埼玉県／広島県
京都府／宮城県／岐阜県／愛知県
【海外】 台湾／ベトナム

24時間テレビに出演！



2025年8月31日、毎年恒例の日本テレビ「24時間テレビ 48 愛は地球を救う」に出演しました。「お互いさまチケット」について、地元ローカル・日本テレビ系列局の福島中央テレビ様にご取材をいただき、地方ローカル枠で放送されました。

2021年12月より、「お互いさまチケット」の普及活動を始めています。導入件数は、2025年12月時点で、福島県78ヶ所、全国122ヶ所、海外2ヶ所となりました。

「お互いさまチケット」の仕組みは、店舗や事業所などで、来店者が他の誰かのために代金を先払いし、後から来店した人が、その見知らぬ人が支払い済み（寄付）のチケットを利用して、無料もしくは低価格で商品を購入したり、サービスを受けるといったものです。導入店舗では「子ども食堂」の機能を生み出すことができます。

これまでに福島県内外の美容室や病児の子ども預かり施設、母親の心理相談、生花店、飲食店、家事代行、性教育講座、ヘアカット、動物手術など、幅広い業種・事・サービスで導入されました。子どもたちに体験を提供する「ピザ作りの体験会」を実施する店舗や、放課後に子どもたちにカレーを提供する放課後デイサービスなど、お互いさまチケットの活用は多種多様です。

導入された店舗へは、全国各地から視察が増え、おり、チケットの活動は「地域資源」としての価値も高まっています。

お互いさまの街ふくしま
お互いさまチケット

講演会

NPO 法人 緊急子育て
サポートセンター 様（福島県）

お互いさまチケットを導入されているNPO 法人緊急子育てサポートセンター様にて講演会を実施。

ペイフォワード
恩送りフォーラム 開催へ

全国でペイフォワード（恩送り）を展開させていただいています。（一社）ロングスプーン協会様、（一社）タコライススラバズ様と「ペイフォワード恩送りフォーラム」を開催。

QR コードギャラリー



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



LINE



原点
吉成さんの想い
①



原点
吉成さんの想い
②



お互いさまの街
ふくしまマップ



お互いさまの街 ふくしま



チームふくしまは、東日本大震災をきっかけに全国や世界中の皆様に応援いただきました。だからこそ、福島市内でお互いさまチケット100店舗を目指し、事例モデルを作ること、応援いただいた国内外の皆様へそのモデルを恩返し、その地域の次世代へ恩送りとして、思いやりに溢れた街「お互いさまの街ふくしま」を目指しています。

1 お互い様チケット



次の誰かのために
食事券を購入

メッセージを添えて
壁に掲示



誰でも使うことができます！

次は自分も！

2 お互い様倉庫

- ・家庭菜園で穫れすぎた野菜
- ・農家さんの規格外野菜
- ・家庭で余った食料
- などを誰でも持ち寄ることができる。



誰でも持ち寄ることができる！

お互い様の
「もらった以上に
誰かに優しくして
ください」

3 お互い様 ART



壁に並んだポストカードを
自由値段で購入。

お金はカードのあった場所へ

売上はすべて児童施設の
子供たちのために活用

県内 100 箇所での
実施を目指しています！



100 店舗になった時、
福島は優しさとお互い様に溢れた
世界一の街になる！

発案者・吉成洋祐

「これならできそう」と考える取り組みがあれば
是非ご相談下さい！

▲お互いさまの街ふくしまのコンセプト



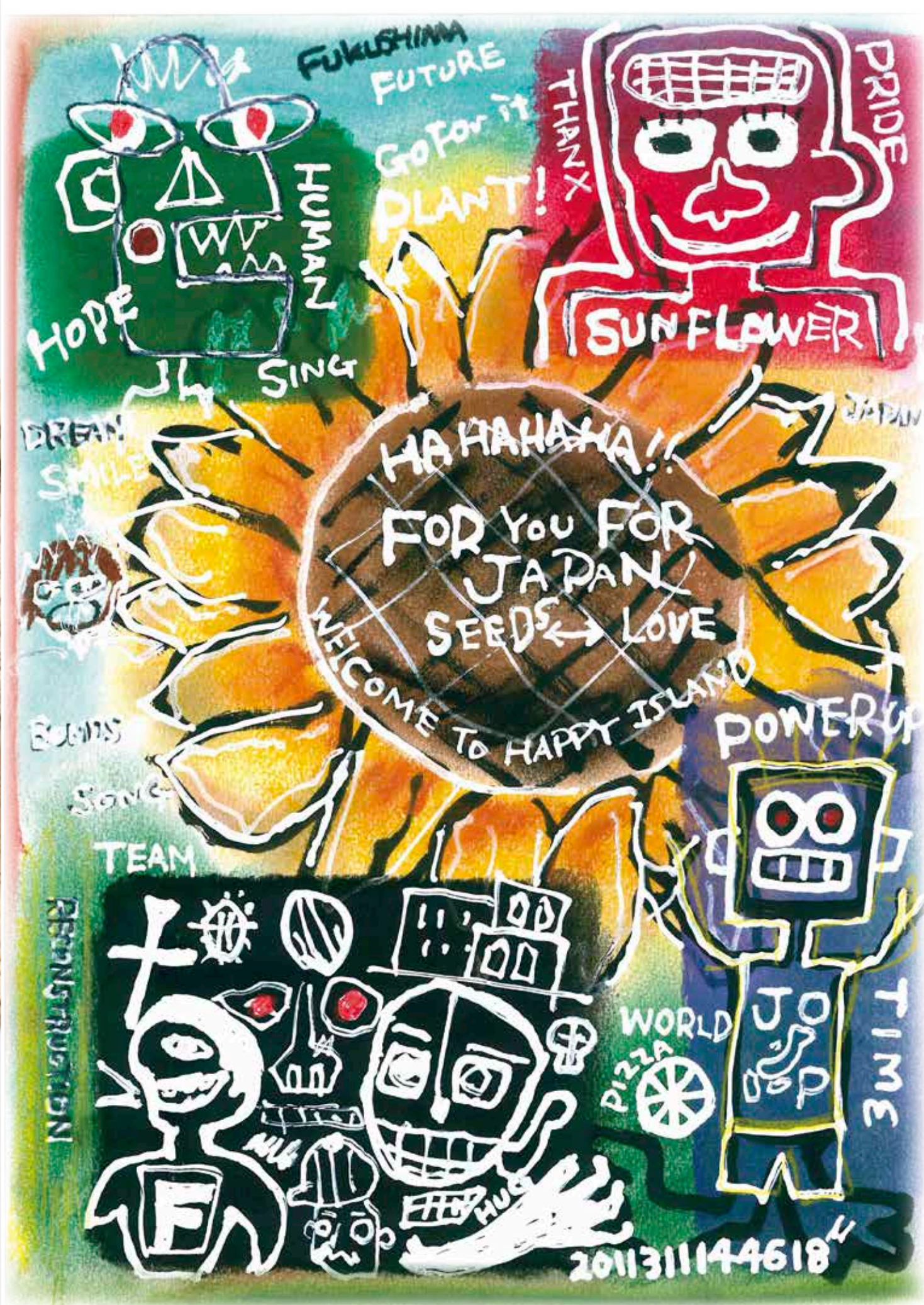
きっかけは、故・吉成洋拍副理事長（2021年5月に逝去）が東日本大震災での体験で価値観が変わり、児童養護施設の方から「福島市内でも困難な状況にいる子ども達がいる」という話を聞いたことが原点です。主な事業は2つあり、1つが「お互いさまチケット」の普及、もう1つが無人福祉型子ども食堂「コミュニティフリッジひまわり」です。



コミュニティ
フリッジ ひまわり
提供世帯数 累計
135 世帯

お互いさまチケット
導入実績数
国内外 計
124 ヶ所





◀動画

ひまわり新聞 吉成副理事長
追悼特別号 & 葬儀 映像配信



◀動画

ふくびとバトン vol.10
「BLT カフェ」 吉成洋拍さん



◀動画

ハグさん
ありがとう

next.

No one will be left behind...